

組合だより

第 248 号 平成27年2月 日本羊腸輸入組合

中国経済の現状に関するセミナーで面白い数字だなあとおぼろげに思っていたので、触れてみます。中国に限らず格差社会が問題になっていますが、中国の富の75%が高所得者層（共産党幹部や企業経営者が該当するそうです）に集中して、その下に都市部住民、農村部住民という分配構造になっているとのこと。この高所得者層は総人口の3%程度ということで、先ず、この3%に集まっているということが驚きです。

凄い格差が生じているのだらうと思うのですが、3%=約4000万人（日本の人口の1/3）が高所得者層だと考えると、近年の中国からの観光客の急激な増加・日本での買物支出額の大きさ・日本で走っているのは小型車ばかりという感想も「有り」だなんて思ってしまう。因みに、1000万円以上の世界高級車市場で、中国は2002年14位（57台）・2012年2位（1,246台/1位の米国は1,700台）・2020年予測は1位（3,000台/2位の米国は2,300台）とのこと。

1億総中流社会という言葉が思い浮かべました。

1. 組合の活動報告

○1月 8日(木) 正副理事長会議、3省への新年御挨拶

川村理事長、遠藤副理事長、依田専務理事で、今年度収支見込と決算方針に関する検討を行いました。また、経産省・農水省・厚生省及び横浜動検に新年の御挨拶に伺い意見交換を行いました。

○1月21日(水) 第8回理事会

川村理事長以下全理事、両監事が出席し、組合会議室において開催されました。最近の消毒受付状況、今年度の収支見込、モロッコ市場調査等について協議しました。

○1月21日(水) 平成27年賀詞交歓会

約50名の皆様に御参加いただき、2年振りに賀詞交換会を開催いたしました。川村理事長の御挨拶の後、日本ハムソーセージ工業協同組合 山本専務理事に来賓御挨拶をいただき、新宅監事の乾杯御発声により歓談へと進みました。最後に遠藤副理事長の御発声で、組合員みなさまの一層の御発展を祈念し三本締めにて閉会しました。

○1月28日(水) 第3回内外市場調査・弘報委員会

関委員長他10名の委員及びワグザ-バ-が出席し、組合会議室において開催されました。2月10～15日のモロッコ市場調査及び4月15～17日の第40回食肉産業展を中心として検討を行いました。

○輸入統計等の情報提供

【財務省通関統計】

平成26年12月の天然ケーシングの総輸入量は、256.7トンとなり、前月比+29.1トン、+12.8%でした。国別では、中国原産のものが167.8トン（前月比+26.4トン、+18.8%）、オーストラリア原産のものが77.1トン（+11.2トン、+16.9%）、ニュージーランド原産のものが3.0トン（前月比△14.7トン、△83.2%）でした。

また、昨年（1～12）の累計輸入量は、3,637.2トンとなり、前年同期比560.4トンの増加（+18.2%）となっています。

【組合受付統計】

○平成27年1月の受付数量は、1,117,846ハクス（前月比+216,762ハクス、+24.1%）でした。対前年同月比では△13.6%です。

船舶、航空の別は次のとおりです。

船舶 1,089,568ハクス 航空 28,278ハクス

2. 検査所だより

成田検査所の動向

①正月三が日の成田山新勝寺への参詣者は308万人で過去最高だったそうです、2月3日には横綱白鵬や遠藤関などが豆まきを行います。

②1月の航空貨物の受付数量は28,278ハクスで、前月比59.7%でした。

③1月14日に実施した消化器系病原菌検査では職員全員陰性でした。

④1月23日成田労働基準協会主催による安全祈願祭が香取神宮で行われ、職場の安全と職員の健康を祈願して参りました。

⑤1月分の受付数量及び消毒数量等は下表のとおりです。

種	類	前月からの繰越	受 付	消 毒	翌月への繰越
航空	羊 腸	0	28,278	15,660	12,618
	豚 腸	0	0	0	0
	合計	0	28,278	15,660	12,618
船舶	羊 腸	0	116,000	64,000	52,000
	豚 腸	0	0	0	0
	合計	0	116,000	64,000	52,000
合計	羊 腸	0	144,278	79,660	64,618
	豚 腸	0	0	0	0
	合計	0	144,278	79,660	64,618

(単位：羊・豚腸：Hks、牛腸：Bundle)

横浜検査所の動向

①インフルエンザ及びノロウィルスの発症例が多く見られるようになってきたため、職員に手洗い・うがい等の励行、また、インフルエンザの予防接種を受けるよう周知しました。

②1月の受付数量は、1,089,568Hksと前月に比べて235,866Hks増加し、前月比127.6%となっています。

③1月の消毒数量（横浜検査所）は、380,570Hksで、前月に比べ49,912Hksの増加でした。また、成田検査所への転送は、116,000Hks（計6件）でした。

④1月末受付分の消毒終了予定は、消毒貨物が順調に搬入された場合には、平成27年3月13日（金）です。

（注）：消毒予定の順番は、当分の間、搬入期日が決まった順に消毒することにしていきますので、消毒終了予定が受付番号順と異なることがあります。

⑤1月の受付数量、消毒数量、成田転送状況は、下表のとおりです。

種別	前月の繰越分	受付数量	消毒数量			成田転送数量	翌月への繰越分
			横浜	新山下	小計		
羊腸	864,214	1,082,068	380,570	374,144	754,714	116,000	1,075,568
豚腸	4,500	7,500	0	0	0	0	12,000
計	868,714	1,089,568	380,570	374,144	754,714	116,000	1,087,568
牛腸	0	0	0	0	0	0	0

（単位：羊・豚腸：Hks、牛腸：Bundle）

新山下検査所の動向

①まだまだ寒さの厳しい日が続いておりますが、節分、バレンタインデーとちょっと心と体が温まる日もあります。職員一同、インフルエンザ、ノロウィルス等に感染しないよう対処し、十分注意をして消毒、検査業務に励んでいます。

②1月20日、動物検疫所検疫部畜産物検疫課より獣医職の新規採用者2名が、当検査所消毒作業の見学のため来所しました。

③消毒業務の効率化を図るため、1月21・22日に消毒職2名がフォークリフト講習を受講しました。

④1月の消毒受付数及び消毒数は、下表のとおりです。

種別	前月の繰越分	受付数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	74,644	360,578	374,144	61,078
豚腸	0	0	0	0
計	74,644	360,578	374,144	61,078
牛腸	0	0	0	0

（単位：羊・豚腸：Hks、牛腸：Bundle）

3. 今後の主な予定

- 2月10日（火）～15日（日） モロッコ王国市場調査
- 3月 4日（水） 第9回検査講習会（成田検査所）
- ” 平成26年度 第4回検査委員会（成田検査所）
- 3月11日（水） 平成26年度 第4回内外市場調査・弘報委員会
- 3月18日（水） 平成26年度 第9回理事会（組合会議室）
- 4月15日（水）～17日（金） 第40回 食肉産業展

4. 事務局から

昨年は組合財政事情から開催を見送りました新年賀詞交歓会が1月21日・五反田イルカバロで開催されました。多くの組合員関係者の皆様に御参加いただき、また、開催することができたことも組合員皆様の事業活動に支えられてのことで、御礼申し上げます。

川村理事長の御挨拶では、昨年の予想を上回る消毒受付数量は人工腸から天然腸への回帰という歓迎される動きと推察される、他方、ウィンナーソーセージの生産数量と天然腸輸入量を勘案すれば、国内在庫になっているのではないかとの不安要素にも言及がありました。また、こうした中で、2015年も組合員各社による積極的な需要啓蒙活動への期待と組合活動への御協力をお願いしております。

ご都合によりご参加いただけなかった組合員の皆様には大変残念でしたが、多くの皆様に参加いただき交流ができたことを大変有りがたく感じております。組合員の皆様が一同に会する機会は少ないですが、次の機会に、また、より多くの組合員の皆様にご参加いただければ幸甚に存じます。